

令和7年度全国学力・学習状況調査結果 府中市立府中第七中学校

【調査の概要】 調査日時：令和7年4月17日（火）、調査対象：中学校第3学年、調査方式：悉皆調査
調査事項：生徒に対する調査（ア：教科に関する調査〈国語、数学、理科〉・イ：質問紙調査）

学力調査の結果

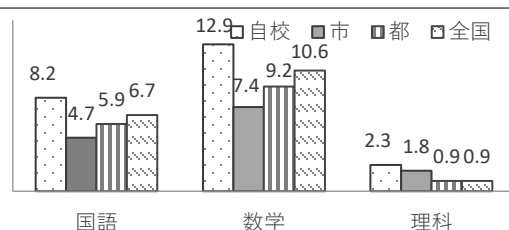
1 平均正答率(%)及び中央値(問)、IRTスコア

	国語(14問)		数学(15問)		理科(26問)
	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)	平均IRTスコア
自校	55	7.0	48	8.0	493
府中市	61	9.0	57	9.0	530
東京都	57	8.0	53	8.0	506
全国	54.3	8.0	48.3	7.0	503

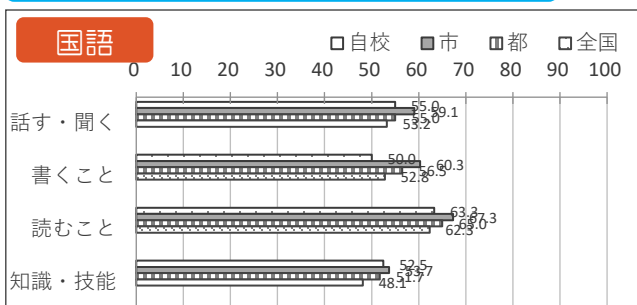
「IRTスコア」とは、問題の難易度を考慮して算出された「学力のものさし」で、500を基準として生徒の理解度を数値で示したものです。

調査結果は、生徒が「どのような力を伸ばしているか」、「どのような力を十分伸ばしていないか」という具体的な成果と課題に着目し、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善、授業改善に役立てます。

2 各教科の無解答率(%) (全設問の無解答率の平均値)



3 学習指導要領の領域別正答率(%)



4 成果や課題があった主な設問

国語

○2二：聞き手の反応を見て発した言葉について、そのように発言した理由を説明したものとして適切なものを選択する。

正答率 自校 83.8% 都 80.8% 全国 77.9%

△1四：ちらしの読み手に向けて、今年の美術展の工夫について伝える文章を書く

正答率 自校 31.3% 都 34.0% 全国 31.0%

数学

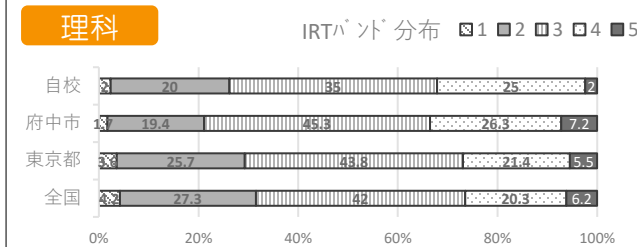
○3：△ABCにおいて、 $\angle A$ の大きさが 50° のときの頂点Aにおける外角の大きさを求める

正答率 自校 61.7% 都 58.9% 全国 58.1%

△2：果汁40%の飲み物amLに含まれる果汁の量を、aで用いた式で表す

正答率 自校 45.7% 都 56.9% 全国 51.9%

理科



IRTバンドとは、IRTスコアを1～5の5段階に区切ったもので、3を基準のバンドとし、5が最も高いバンドとなる。

理科

○9(2)：クリーンルームのほかに気圧を利用している身近な事象を選択する

正答率 自校 63.1% 都 62.4% 全国 58.1%

△3(1)：設定した【仮説】が正しい場合の実験結果の予想を選択する

正答率 自校 34.3% 都 35.1% 全国 34.9%

5 学力調査の結果についての成果と課題

○成果

国語では「言葉の特徴や使い方に関する事項」、理科では「身近な事象と既習事項とのつながり」についての問題で正答率が高い。

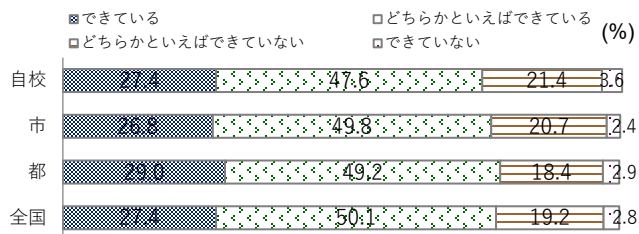
△課題

無回答率がどの教科でも多いことは課題である。授業の中でも粘り強く学習に取り組むことで成果につながるような体験をさせていく。

質問紙調査の結果

主体的な学習の調整の視点から

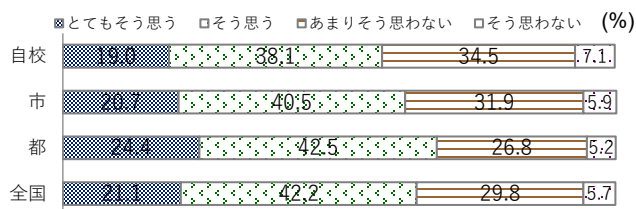
【16】分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか



授業で、問題解決に向けて主体的に取り組む生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

ICTを活用した学習状況の視点から

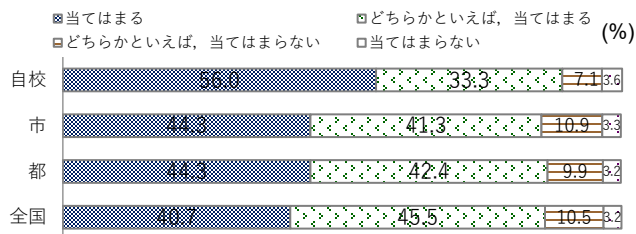
【29-3】あなたは自分がP C・タブレット端末などのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると感じますか



ICT機器を活用することができると考えている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

自己有用感、地域・社会との関わりの視点から

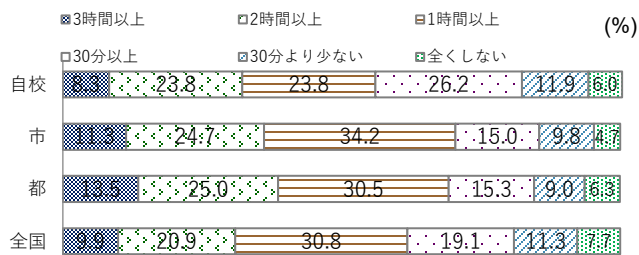
【5】自分には、よいところがあると思いますか



自分にはよいところがあると思う生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

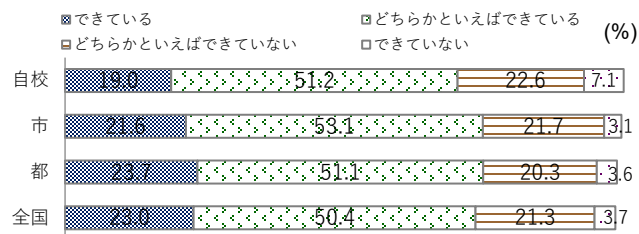
学校外の学習状況の視点から

【17】学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか



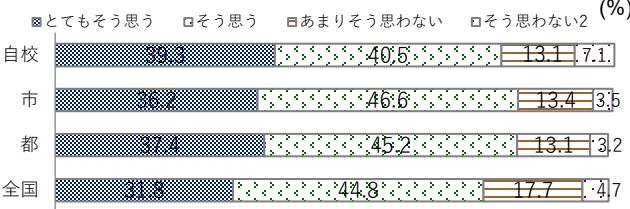
家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【36】学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



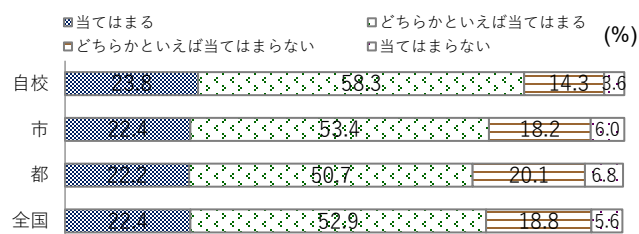
自己の学習状況を把握し、調整できていると考える生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【29-4】あなたは自分がP C・タブレット端末などのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると感じますか



ICT機器を活用することができると考えている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【27】地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うことはありますか



地域や社会のために役に立ちたいと考える生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

今後の取組について

〈学校での取組〉

授業には落ち着いて取組んでいる。意見交換など主体的・対話的な学習を取り入れた授業改善を行う。定期考査での試験範囲表を早期に配布し、学習計画表の活用を推進する。

〈家庭での取組についてのお願い〉

基礎的・基本的な知識の習得のために家庭学習が習慣化するように声掛けをお願いします。定期考査での試験範囲表を早期に配布しますので、学習計画表の活用についても確認をお願いします。